



豊後大野市立緒方中学校学校だより

青雲の大志

令和6年3月29日

NO.35 文責 校長 内海真理子

【学校教育目標】 自他を尊重し、論理的な思考力と豊かな表現力で、粘り強く課題解決を図る生徒の育成

修了式

校長式辞

先ほど、各学年の代表に修了証を渡しました。これは、「法律で、それぞれの学年で学ぶように定められた教育内容をしっかり学びました」という証です。一年間、皆さんが努力し、成長してきた証でもあります。支え、応援してくださっている家族や先生方、地域の皆さんに感謝の気持ちを持ちながら、**今日は、頑張った自分を褒めてください。誇らしく思ってください。**

この1年、私は、皆さんの大人になっていく姿、遅くなっていく姿をたくさん目にしてきました。成長する人たちのすぐそばにすることができる幸せを度々感じてきました。

この1か月の間でも、うれしくなったことがいくつもあります。まず、生徒会執行部に創作を依頼していた、「**豊後大野市小中一貫教育校緒方学園の児童・生徒会の歌**」が**完成**しました。

先日、2年生が全員で歌ってくれた曲を聴き、創作に携わった人のセンスの良さ、国語や音楽の授業で学んだ知識・技能を実生活に活かす力に驚きました。そして、それを学年のみんなで早速、歌声として他の学年に届けられる形にしたことにも、チームワークの良さや最高学年としての自覚を感じ、感動しました。予想を超えた力を目の当たりにしました。私を超えたところに皆さんはいます。

他にもあります。2年生は2学期末、新研究の学習が始まって、明らかに**勉強への向き合い方が変わりました**。勉強以外にもやりたいこと、やらなければならないことがたくさんあるからと、昼休みなどの隙間時間をうまく使いながら勉強している姿を見て、立派だと思いました。

昼休みと言えば、苦手教科克服のために先生にお願いして、**毎日のように質問学習**をしている人がいます。教科は違っても、2年生の姿に刺激されたのでしょうか、1年生にも、同じように学びに向かう姿を見せる人が出てきました。その中の1人に、「あなたは、以前は、すぐ『どうせ自分はできないから』と言っていたけど、頑張っているね」と言っ

たところ、「もう、そんなことは言いませんよ!」と明るく返されました。このときは、本当に胸が熱くなりました。**自分のことを諦めない、大事にする、このとても大切なことに気づいてくれた、**と思ったからです。

友達へのさりげない思いやり、専門部の仕事を責任をもってやり遂げようとする姿、朝の挨拶の声の明るさ、昼休みに学年の枠を超えて楽しそうに遊んでいる姿、そういったことは、みなさんにとっては何でもないことかもしれませんが、私にとっては、いえ、きっと他の先生方、**みなさんの周りの多くの大人にとっても、うれしいことにちがいません。**そのことをどうか心に留めておいてください。

さて、私から、春休みの宿題を1つ出します。それは、「**なりたい自分**」を見つけることです。将来なりたい職業とか夢とか、そんな大きなことでなくてもよいのです。2024年4月段階の「なりたい自分」を見つけて、それに近づくためにどんなことを心がけたいか、考えてみてください。具体的には、キャリアノートの、1年生はP42、3年生はP50に書き込んでみてください。それをもって4月、新しい学年をスタートしましょう。

それでは、良いスタートが切れるように、長期の休みの前にいつも言っていること、「**早寝・早起き・朝ごはん・決まった時間に勉強を始める**」。健康で充実した春休みにしてください。

表彰

全国教育美術展 東京審査
入選 2年 嘉藤 花さん
西日本読書感想画コンクール
佳作 2年 工藤 鈴さん
豊後大野市書初大会
優秀賞 1年 大津 京也さん
画聖「田能村竹田」先生をしのぶ美術展
入選 1年 田上 和篤さん
入選 1年 佐藤 琥珀さん